



所在地：鳴川市八色887-1

施主：鳴川市

設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：清水建設・富士三建工業
共同企業体

高齢者障害者に配慮した一般建築物 鳴川市総合保健福祉会館



市民に最も身近な地域において必要な福祉サービスをきめ細かく、総合的に提供できる体制づくりの一環としてつくられたこの施設は、自然環境に恵まれた立地条件をうまくとりいれている。

赤瓦の勾配屋根、外壁の打放しコンクリートの外観が、堰の水面に映るその姿はふれあいセンターとして、より親しみやすいものになっている。

一階は玄関から続く広いホール、ロビーが各室との連絡機能を充分果たしている。さらに、中庭を中心として保健、医療の関係部門と、福祉関係部門との融和を図っている。

二階は各団体等の指導、研修室の配置が高齢化、小児化の現状を考慮して設計され、保健・医療・福祉の連携を保持するため、それぞれの関係スペースを配置している。

仕上材は、木質系を多用し人にやさしい雰囲気を構成している。さらに、やわらかい自然の光、さわやかな自然の風の導入等、利用者へのやさしい配慮も評価できる。将来的には健常者と障害者が共に安心して利用できるふれあいセンターとしての総合的機能が十分に



発揮されることを期待する。そして管理部門としての事務室と福祉関係部門のデイサービスとの関連性、視聴覚障害者の利便性等の配慮について新たな提案を待ちたい。

福祉ニーズが今後益々変化し多様化していく時代であるだけに、この種の施設の関係者の努力を願うものである。

(周郷紀男 委員)